

## 楽しく充実していた台湾研修

宇都宮文星なでしこインターアクトクラブ  
高島 千愛

私がこの研修に参加しようと思ったきっかけは先生に「Look East」と言われたことでした。今、めざましい発展を遂げているアジアの国々。その中でも親日として知られる台湾。この国の文化や歴史、人柄についてもっと知りたいと思った。最も関心が湧いてきたのは同年代の学生達はどのようなことを学んでいて何に興味があるのかについてだった。

2月に台湾から栃木にロータリアンやインタアクターがやってきた。積極的に交流を図ろうと意気込んで臨んだものの、思うように交流が出来なかった。自分から話しかけるのが得意で



ないという自分の良くない点が出てしまい悔しい思いをした。もっとたくさん交流をして仲良くなりたかった。この思いを胸に刻んで台湾研修へと参加した。しかし、中国語の簡単な自己紹介や挨拶の発音が上手くいかず、研修が近づくにつれて不安が込み上げてきた。一緒に参加する同じ学校のメンバーが私だけ違う学年ということもあり馴染めるかどうかずっとドキドキしていた。研修が始まるとそんな私の心配とは裏腹に楽しく充実した生活が待っていた。初日の台南の歓迎パーティーでは現地の方々が私達を温かく迎えてくれ、この研修に参加して良かったと早速思わせてくれた。そこには先日栃木に来てくれた人達が多くいた。来てくれたときに想像していたよりも交流が出来

なかったと悔やんでいたが、そのときに言葉を交わしていた生徒や学生が話しかけてきてくれたのが嬉しくて涙がでそうだった。また、台湾側が企画してくれたゲームによってたくさんの人達と打ち解けることができ、いつのまにか私の中にあった不安が払拭されていた。

2日目には3つの高校を訪れた。どの学校も熱烈歓迎をしてくれて感無量であった。最初に訪れた私立育徳工業家事職業学校では太鼓と演舞を披露して下さりその凄さに拍手喝采であった。また、この学校は専門的な学科が多く日本では見られない授業風景を目にすることが出来た。外で大道芸やバーテンダーの実習をしているのを見て同年代の人達が自分の将来の夢に向かって進んでいる姿を見て私も精進しなくてはと思わされた。

国立曾文家事商業職業学校では、3つのグループに分かれて活動をした。



私は縁起物の「春」という漢字をモチーフにした飾りを作った。画用紙を折って切るという作業だったが分厚くて切り難そうにしていたら両隣に座っていた生徒達がこうやった方が切り易いよと一生懸命教えてくれて作り上げることが出来た。このとき言葉の壁があるはずなのに全然感じなかった。教えてくれた生徒達の一生懸命さや親切心の賜物であると思った。この生徒達とはすぐに仲良くなることが出来、毎日のように連絡を取り合う仲にまでなれた。次に会える日を心待ちにしている。臺南市私立光華高級中学校では体育館でこの学校の校歌を歌ったり妖怪

体操第一を皆で踊ったりして楽しく過ごせた。服飾科の生徒による手作りのチャイナドレスを着ての演舞は美しくなんとも言えない艶めかしさがあった。一日に3つもの学校と交流したのは大変だったけれども充実感の方が勝っていて交流出来て良かったと心から思った。



答礼の宴では交流をした3つの学校からそれぞれ生徒や先生が来てくれて、くじ引きできめた席で交流を図った。「ありがとう」という気持ちを最大限にこめて会を行ったのでその気持ちが届いていると嬉しい。最後は「恋するフォーチュンクッキー」を会場皆で踊って楽しく終わることが出来た。たくさんの台湾の学生と交流ができ、とても充実していた。用意していた名刺がほとんど無くなってしまったのには驚いた。この後大東夜市に行った。そこで案内してくれた大学生の方がなんと日本語を勉強していて、積極的に話しかけてくれ、会話が弾んだ。名物の長いソフトクリームやタピオカミルクティーはとてもおいしかった。ただし臭豆腐は口に合わず涙がでそうになりながらなんとか飲み込んだ。もう一生食べたくない。

台北に移った後は観光やお土産を買ったりした。お土産屋さんの店員さんは皆押しが強く日本で行うところの大阪のおばちゃんみたいだと思った。九份は坂道を登りきると海が見え、絶景だった。千と千尋の神隠しの舞台にもなったと言うことで興奮が隠し切れず思わずエキサイトしてしまった。忠烈祠や故宮博物院では目で耳で肌で台湾の歴史や文化を感じることが出来た。欣葉台菜創始店での交流会では中国語での自己紹介をした。練習してきたものではあったけれど失敗してしまわないか不安で膝が笑っていた。しかし言い終えると皆拍手をしてくれたのでほっと一安心した。もっと色々なフレーズを練習しておけば良かったと少し心残りもある。皆で「恋するフォーチュンクッキー」や「小さい林檎」を楽しく笑顔で踊れたことは言葉の壁を越えて交流出来た瞬間だと思った。



台湾研修に参加して思ったことは「一期一会」だ。台湾に行かなければ出会えなかった大勢の人達、そしてその人達と結ぶことのできた絆。その一つ一つをこれからも大事にしていくと共にその輪を広げていきたい。最後に、台湾研修に参加できたことに心から感謝申し上げます。今まで以上に精力的にボランティア活動や国際理解に励んでいきたいと思えます。これからもどうぞ宜しくお願い致します。